



わたうち通心



令和5年9月1日発行 No.9

2学期がスタートしました。今学期は「創立150周年をお祝いする会」が予定されています。運動会も、「綿打ばやし」を全校で踊ったり、綿打小学校の歴史を感じられる表現等を取り入れたり、少しでも「150周年記念」を感じられる運動会にしたいと考えています。

それらの行事に向かう日々の活動の中で、子供たちが綿打小学校の歴史や地域の人々や先輩たちの熱い思いに触れ、伝統を受け継ぎながらよりよい学校を創っていこうという思いを新たにしてくれることと思います。

2学期 始業式のお話

さあ、いよいよ2学期が始まりましたね。

今日、元気に登校するみなさんの姿を見ることができ、本当に嬉しいです。

長い夏休みでしたが、どんな風に過ごしましたか。暑さに負けずにスポーツを頑張った人もいるでしょう。新しいことに挑戦した人もいるかもしれません。また、家族と出かけたり、友達と遊んだり、いっぱい勉強したり、いろいろな時間の使い方があったと思います。もしかしたら、宿題がなかなか終わらずに大変だった人もいるかもしれませんね。それでも、元気に楽しくすごし、大きな怪我もなく今日の始業式を迎えられたこと、とても有り難く思います。

夏休みが終わってしまうのは少しさみしい気もしますが、今日から、友達と一緒に新しい学期を楽しく充実したものにしていきましょう。

運動会の練習も始まります。今年も、みなさんの頑張る姿、活躍する姿を見られることを楽しみにしています。

2学期には他にもたくさんの行事があり、一番長い学期でもあります。そこで、2学期にみなさんに心掛けてほしいことがあります。それは、「時間を大切にする。」ということです。

みなさんは心も体もすごいスピードで成長していく、そんな年齢です。身長や体重も増え、ぐんぐん成長していますね。授業で新しいことを学んだり、いろいろなことを考えたり、伝え合ったりして、そのたった1時間の授業の中でも脳細胞が増え、成長しています。そんな成長期にあるみなさんだからこそ、時間を大切にして、どんどん成長して行ってほしいのです。

そのために、2つのことをやってみましょう。

1つめは「自分からやる。」ということです。

どんなことも自分から「やろう。」と思ってやると、楽しくできます。そして、その経験が力となります。体力もつきますし、学力も伸び、大きく成長します。

2つめは「一緒にやる。」ということです。

何かに挑戦するとき他の人と協力し合うと、さらに大きな力を発揮することができます。みんなで力を合わせれば一人だけではできなかったこともできるのです。

2学期には、たくさんの行事があります。成長できるチャンスがたくさんあるということです。いろいろな行事や毎日の学校生活の中で、どんなことも自分から、そして力を合わせて一緒にやっていきましょう。

1学期の表彰者です おめでとう

太田地区よい歯の子のコンクール 学校表彰者 6年 西澤 良亮

口腔衛生週間行事の図画ポスター及び標語のコンクール

(図画ポスターの部)	入選	5年	吉野 瑠夏
	入選	4年	清村 祐依
	入選	3年	宮本 夏綺
	入選	2年	清村 舞
	入選	1年	笠井 ころろ
(標語の部)	入選	3年	高橋 輝



7月21日 太田市水泳記録会

夏休みに入ってすぐの7月21日、太田市水泳大会が開催されました。会場は、太田市内各校のプールです。5、6年生9名が選手として参加しました。本番の緊張感の中、保護者の方々や先生方からの応援を受け、自己の記録を伸ばそうと一生懸命に泳ぎました。放課後に練習をして、この水泳大会に臨みました。何事にも挑戦し、自分を成長させようと頑張る姿が素晴らしいです。



8月1日 太田市いじめ防止フォーラム

8月1日、「太田市いじめ防止フォーラム」が開催されました。今年度は、各地区の高校生・中学生・小学生が集まって「

綿打小からは、6年2組の丸山春樹さんが代表として参加しました。堂々と自分の考えを発表し、他校の人たちと意見交換しながら、防止策や解決策について考えました。

最後に拠点となっているそれぞれの高校で協議された結果を全体に向けて発表しました。話し合われた内容やまとめられた意見については、これからのいじめ防止活動に役立てていきます。

8月4日 綿打地区合同会議

8月4日には、綿打地区合同会議が綿打中学校を会場として開催されました。民生・児童委員会長の関口様、主任児童委員の新井様はじめ各地区の民生・児童委員の皆様と、綿打小・中学校の教職員で話し合いをもちました。

子供たちが地域の行事等に参加しながら楽しく過ごしている様子や中学校に進学した子供たちが部活動や学習にしっかりと取り組み、成長している様子等、お話を聞く事ができました。

参集して話し合いをもつのは3年ぶりですが、小学校・中学校・地域が情報を共有することで連携することができ、子供たちの健やかな成長のために力を合わせて行くことができるのだと改めて感じました。



8月4日 綿打中学校区生徒指導ブロック協議会講演会

8月4日の午後には、臨床心理士の荻原高子先生を講師として、講演会が開催され、綿打小・中学校の教職員が参加しました。

その講演会の中で、「子供は、『いざこざ』の中で成長する。」という言葉が印象的でした。

「社会性（人との関係をつくったり、トラブルに対処したりする力）やストレス耐性（ネガティブな感情に対処する力）は、幼少期の『いざこざ』の経験から身に付けてきたが、今はその機会が減ってきている。」と、荻原先生は指摘されていました。

子供同士の「いざこざ」をなくすのではなく、成長する機会と捉えて、自分たちの力で解決できるようにしていくことが子供の生きる力を育むために大切なのだと改めて感じました。

講演会の後、小グループに分かれて情報交換をしながら、義務教育9年間の教育活動を系統的に捉えてより充実した教育活動が展開できるよう、話し合いました。今後の学習指導や生徒指導に役立てていきます。

9月2日 PTA除草作業

1学期の表彰者です おめでとう

太田地区よい歯の子のコンクール 学校表彰者 6年 西澤 良亮

口腔衛生週間行事の図画ポスター及び標語のコンクール

(図画ポスターの部)	入選	5年	吉野	瑠夏
	入選	4年	清村	祐依
	入選	3年	宮本	夏綺
	入選	2年	清村	舞
	入選	1年	笠井	こころ
(標語の部)	入選	3年	高橋	輝

